

# トラドック活用 法令順守

【岐阜】岐阜梱包（堀部友

里社長、岐阜県大野町）では、岐阜県トラック協会（山口嘉彦会長）が独自に行う取り組み「トラドック」を積極的に活用し、コンプライアンス（法

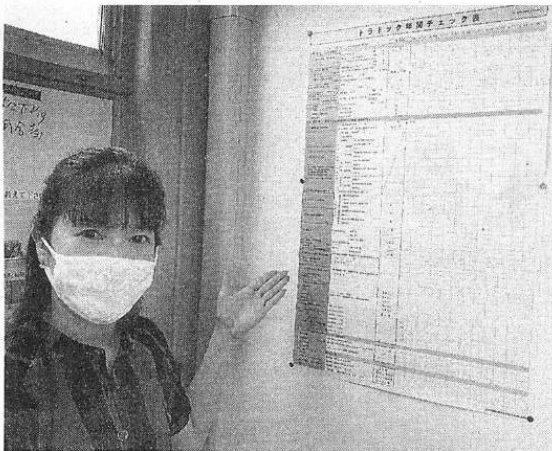
## 岐阜梱包

令順守）の徹底を図っている。

トラドックは、事業所が自社の法令順守状況を確認するためのチェックシートで、点呼や乗務記録など毎月チェックが必要な項目は黄色、運転者台帳や車両台帳など変更があった際にチェックする項目は緑色——のように色分けさ

れている。 どう活用するかは各社に委ねられているが、岐阜梱包では本社1階事務所の壁にトラドックのシートを貼り、管理者からドライバーまで誰もが日々確認できるようにしている。 堀部社長は「チェック項目が種別に整理されているので、今やるべきことを一目で確認できる。管理者だけでなくドライバーも見るので、現場の視点で気付くこともある」と話す。

## 「やるべきこと」確認



茨城営業所（茨城県古河市）は茨城県トラック協会（小林幹愛会長）に、それぞれ加入している。「適正化事業では、各トラック協会が色々な工夫をしていて、どれも役立つものだが、岐ト協のトラドック

は良いアイデア」と堀部氏は、従業員全員がコミュニケーション能力とチームワークを磨き、目標を明確に意識して取り組むため、グループでパズルの完成を目指すユニークな社内研修も実施している。 堀部氏は「設定した目標は可視化することが大事で、社内に掲示したトラドックも同じだと考えている。新型コロナウィルスの影響で経営環境は厳しいが、気持ちを一つに、法令順守に努めていきたい」と力を込める。（星野誠）

社内に掲示したトラドックを紹介する堀部社長